

rongorongongo

茨城キリスト教大学 文化交流学科

茨城キリスト教大学文学部文化交流学科 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-52-3493

福田佳代子のボランティア報告

タイ南部のパンガーにいます

「ICアジアンボランティア・サポート基金（二ページ参照）」の補助対象第一号となった文化交流学科05年卒業の福田佳代子さんは5月31日成田を発ってバンコクに向かった。タイ南部の津波被災地パンガーで活動するドゥアン・プラティープ財団のお話キャラバンに合流し、もう一月以上たつ。最近の様子を報告するメールが届いた。



一緒に写っているのは私がいるキャンプにあるサオリプロジェクトという織物を作っているグループのリーダーです。クラフトショップはオープンしたばかりですが、店の外はやはり閑散としています。ただ多くのプロジェクトではそこで作ったものの販売ルートがまだ確立していない状態なので、この店は貴重な存在です。

時間がゆっくりと流れる

タイに来て4週間が過ぎました。ここではなんだか時間がとととゆっくり流れていて一日一日がすごく長く感じます。一日一泊で本場に24時間あるんだなって初めて実感しました。なので私のこの4週間は日本のものよりたっぷりとした時間があり、その分たくさんのお土産が手に入りました。パンコクをはじめペップリー、プーケット、トラング、コパンガンなど様々な所へ行き、様々な人と出会いました。特に今いるパンガーというところには様々な国からボランティアが集まっています。

私に何ができるのか

初めバンコクにいた頃は、ボランティアをされるといっても一体私に何ができるのか、何をすべきなのかわからず自分の無力さに悲しくなっていました。別に私がいなくても津波の復興は進むし、プラティープ財団も運営されていくのです。しかしパンガーに来て思ったことは、タイ人を含む多くのボランティアは私と同じように、

パンガーの犠牲者は10万人

何か特別な能力を持っているのでもなく、特別な役割を担っているのでもないのだという事です。

いたって明るいのです！私のいるキャンプではいくつかのプロジェクトが動いていて、あるものは織物でポーチやリストバンドを作り、またあるものは染物をしてTシャツやバッグを作ったりしています。これらのプロジェクトは、もちろん作ったものを売って職を失った人の生活資金を得ることが目的ですが、それ以上に被災者の人に集まる場所やすることを与えているという点で大きな意味があると思います。仲間が集まれば話ができたり何か作ることができたりすることは心を落ち着かせるのにとっても効果的だと思っております。

子どもが集まる市民センター

私があるプロジェクトは子供が集まる市民センターのようなもので、特に土日や学校が終わる時間には多くの子供でにぎわっています。ここには私を含めタイ人やマレーシア人など多くのボランティアがいて、私たちは特に何かを教えるというわけでもなく、ただ子供と遊んだりしているだけなのです。やはり場所を提供しているという点で大きな意味があるのだと思います。ここに来る子供は親や兄弟を亡くしている子が多いのですが、ここでは皆が楽しそうに遊んでいるのです。

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

多国籍のボランティアが

そしてこの明るい雰囲気を作るという点でボランティアは必要な存在なのだと思います。ユーモアいっぱいの人（タイ人のボランティアはその人自身も被災者の場合が多い）、いつもハイテンションなアメリカ人、シンガポールの学生団体、隣国のマレーシア人など色々なボランティアが集まることでこのキャンプは成り立ち、一層明るい空気がここに流れるのです。私はその一人としてここでみんなと一緒に暮らしています。特に何か大きなことが出来るわけではありませんが、今はここにいるということ自体に一つの私の存在の意味を見出しています。

学園祭で産品を売りたい

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

また、先の話ではあります。ここで作られているものを二面上から四段につづく

私の就職宣言

吉成美鶴 文化交流学科三年次

茨城県の主催するプロジェクト「ジョブカフェいばらきオーブン」に所属し、若者に対する就職支援事業で発表したものの抄録です。

私は、起業を目指す「ICファクトリー」という、大学生だけでつくられた会社の一員です。きっかけは04年4月、日立市の商店街に空き店舗ができたので、そこで何らかの店を出さないか、という日立市商工課からのお誘いでした。大学の貴重な4年間を有意義に過ごしたいという思いから、私はこの企画に参加しました。何のお店を開くのか、仲間たちとけんけんがくがく議論した上で、お店が私が提案した「喫茶店」の経営に決まりました。

現在、「奥久慈紅茶」はお客さんにも好評です。紅茶を飲んでいただくだけではなく、茶葉も売れるようになりまし。私達は、これからも「奥久慈紅茶」を地域に向かって発信し、世界に広めたいと思っています。私達の「ICファクトリー」では、これからタウン誌を発行し、「奥久慈紅茶」を広めていきます。8月から9月のはじめにはこの第1号のタウン誌が刊行されるはず。喫茶店の経営では、手作りのお菓子を提供すること、メニューや宣伝方法などを自分で考えること、そして売り上げ増進のためにコンサートを企画する等、決して楽ではありません。しかし、自分の意見を発表し、どうすれば良い方向に進むのかを仲間と話し合うことは、社会に出る前の大事な勉強だし、とても有意義なことだと実感しております。今年からは、この事業への参加も大学のインターンシップの単位として認められ、4月から新しいメンバーも加わりました。このプロジェクトに参加したことで、社会に出るうえでの一歩になり、自分の能力を高めることができました。これほど素晴らしいことはないと思います。これからも、プロジェクト遂行に力を注いでいきたいと思っています。そして、この体験を私のこれからの職業に生かし、頑張っていくことを宣言し、これを「就職宣言」とさせていただきます。どうもありがとうございました。



六月二日、瀧野修学長も募金に協力

ICアジアンボランティア・サポート基金の活動に「ご理解とご協力をお願いします！」

アジアンボランティア・サポート基金呼びかけ人代表
藤田 悟 (文化交流学科教員)

◆何がしたいという思い

スマトラ沖大地震と大津波による被害は想像を絶する規模のものとなった。このような災害時に「何かできないものか?」と誰しも思わずにはいられない。阪神淡路大震災(95年)以来、ボランティアが救援活動にかけつけることが定着してきた。しかし、思いはあっても誰しもが実際に被災地に出かけるわけにはいかない。

また、何が現地が必要とされているかを明確にしにくい状態でボランティアがやみくもに集まっても、逆に混乱をまねくもともなわねない。さらには、思いもあり時間や体力があっても、資金的裏づけがないことも多い。

本学の場合、「隣人愛」を掲げるキリスト教主義の大学であり、「思い」はありあまるほど存在する。ボランティア活動の経験者も多く、ある種のノウハウや人間関係の蓄積もある。

ボランティア・サポート基金呼びかけ人

Harris Ives 安藤 博 岩崎 哲郎 上野 リベカ
鶴沢 淳一 鶴沢 未央 内田 晴子 榎戸 友紀
岡田 典夫 小野 瀬香 織大森 滋子 櫻村 春香
梶山 明香 柏原 信幸 金澤 直子 北郷 道
草野 恵美 小池 朱美 小谷野 邦子 斎藤 聖二
染谷 智幸 丹 記子 飛田 隆 豊福 義彦 野口 雅代
藤田 悟 (代表) 堀口 悟 Ross Martin 山崎 京子

また学生は条件を整えばボランティア活動をするのにならぬ。その経験から非常に多くのものを学ぶ人々である。

◆条件を組み合わせれば

こうしたさまざまな要素を結びつけることさえできたらと考案されたのが、ICアジアンボランティア・サポート基金と、それを含むICアジアン・ネイバーフッド・ネットワークの活動だ。

□やりたいという思いはあるし、若い力もあるが、ノウハウと資金は不足している

□経験やノウハウもあるが、体力や時間あまり余裕がない

□思いはあるし、資金的な応援もできるが、実際に出かけられない

□思いはあるし、時間もつくれる。後方支援活動はできるが、金銭的余裕がない

こう考えると個別的にはないないづくしで、動きがとれない。

しかし、各自のできることをうまく組み合わせれば、そこには大きな可能性が見えてくる。

IC・ANN

五月末の福田さんの出発に間に合わせるため、急遽ICアジアン・ネイバーフッド・ネットワーク(IC・ANN)を結

◆ボランティア・サポート基金

五月二七日「福田佳代子を送る会」開き、「ICアジアンボランティア・サポート基金」の呼びかけ文を作成、呼びかけ人を募るかたちで学内関係者に協力を依頼した。

六月後半からサポート基金の実際のキャンペーンを開始した。六月二二日には瀧野修学長も募金に協力してくれた。これにスタッフが勇気づけられた。「二ペ写真参照」

学生ラウンジなどにデスクを設けての募金キャンペーンは七月はじめてだが、募金を引き続き受ける。



【福田佳代子つづき】
買い求め学園祭のアジアンバザールで売ることで、さらに少しでもここにいる人の役に立てばと考えています。私はよく他のプロジェクトにも顔を出しているのですが、そこで「ぜひこの商品を大学の学園祭で売りたい」と言うと、みんなすごく喜んでくれます。

私がインターネットを使える日というのは特に決まっています。ただネットカフェに行くには誰かスタッフに送り迎えを頼まなくてはならないので、あまり頻繁には行けません。それと今回は運良く

◆日本語教育ボランティア

この先の予定としては、当面二つの企画が動いている。9月前半の二週間、カンボジア日本友好学園で日本語教育ボランティアの活動を行う。藤田がまとめ役となり去年に引き続き二回目。ボランティア・サポート基金の補助対象となる。アジアンバザールの買出しをかねるので、そちらからも補助の可能性はある。すでにメンバーはほぼ確定しており、準備が始まっている。

◆アジアンバザール

一月の学園祭でアジアンバザールを開催。去年に引き

他のボランティアの人でカードリーダーを持っていて人がいて写真をCDRにコピーしてくれたので写真を送ることができたのですが、その人はもうバンコクへ行ってしまうので今後はいつ写真を送れるかわかりません。

ここでの生活は水シャワーや紙の流せないトイレ、言葉の壁など様々な問題があります。食あたりによる吐き気や下痢も辛い。でもそれ以上に共に生活しているタイ人やその他のボランティアとのふれあい、楽しく、暖かく、興味深いものです。タイで仲間と飲むビールは最高に美味しいですよ!



続き今年も大々的に盛り上げたいと張り切っている。去年に引きつづき、クメール伝統織物研究所の作品も展示即売したい。品質と美しいさとい、また、カンボジアの伝統文化の復興と仕事作りという面からも非常に重要な仕事だと思つので、これからもサポートしていききたい。今年は、福田さんがタイ南部の被災地で仕入れた品々も登場する予定。そろそろ準備を始めるので、一緒に活動したい人はご連絡を。 icann@hcmuail.co.jp あるいは三号館五階藤田研究室

青年海外協力隊 O.G.は語る!

五月十日(火)の文化交流論の授業は、「OGが語る青年海外協力隊」の講演会でした。JICA国際協力機構の協力を得て、開催されたもの。

ビデオ上映につづいて、看護師としてアフリカで二年間活動してきた小野寺峰子さんが実際の体験を話してくださいました。これを聞いて学生が感じたことなどを一部紹介します。

●卒業したら応募したい O・K 3年次 女

「興味があったのは」すべて! 特にどのような体験ができるのかということ。

前から参加してみたいと思つていましたが、今回の説明会に参加してさらに参加したい気持ちが強くなりました。卒業したら応募してみようと思います。

●はじめて知ることばかり Y・T 3年次 女

日本とは生活環境や経済状態、習慣などが全く違うのではじめて知ることばかりでも興味深かった。

ビデオの中の3人の方々ははじめ青年海外協力隊の方々のみならず、活動して一生懸命働いているのがとてもよく伝わってきた。

衛生状態や経済状態が悪いために普通なら死なない乳幼児が多く亡くなるのがとても残念に思つた。

●若い女性が元気に活動 W・T 3年次 女

女性が活動しているところ。年配の男性が多いイメージだったので若い女性でも活動できることを知つてうれしかった。

小野寺さんの話で、お金がなく薬が買えずにかえつて行くということがありますが、その人たちはそのままなんですか? 何か方法はないのですか?

若い女性が、元気に活動している様子を見て、とても感動しました。知らない人々、土地に一人で行くことは、とても不安だったり大変だと思う。そんな中で笑顔がとても印象的だった。小野寺さんの行った村の写真を見て、とてもショックを受けた。

●現地の住民に必要とされる A・Y 2年次 男

自分達がこういうふうになりたいというのをもつて出かけた協力隊の活動から、あの3人の女性はそれ以上のものを得た気がします。自分が現地の住民必要とされる。人に必要とされることに非常に興味を持ちました。

どのくらい語学力を持って参加しに行ったのか。また、まったく語学力がない立場だったのならどのようにして語学を身に付けたのか。やはりパワーのいるボランティア活動だし、青年のうちでしかできないのだからうな

長期交換留学(一年間)に参加して

本学の国際交流プログラムは、この規模の大学としては質量ともに他の追随を許さない充実したものと

なっている。
04年度に中国の天津師範大学に留学した大森滋子さんと、韓国の明知大学に留学した橋本由美子さんに留学報告を寄せてもらった。

天津

不安で泣いたことも自分のやりたいことを見つけた

大森滋子(文化交流学科四年次)

04年2月から05年2月まで、大学の長期交換留学制度を利用し、1年間、中国の天津師範大学に行ってきた。

天津に着いた当時はなんざ大きい町なんだろうと驚き、今までの中国に対するイメージが着いたその日に変わりました。北京空港に着くと日本語が上手な中国人が師範大学から迎えに来てくれました。しかし、授業が始まると、自分の中国語の話をさすごく落ち込みました。なんで、こんな



レベルで中国に来たんだろう、もつときちんと勉強してからくればよかったと思っていたとき、両親から電話をもらい「つらければ、帰っておいで。」の一言に泣きそうになりました。しかし、「全然、つらくないよ!むしろ、一人だから気が楽でいい」と言っていて電話を切りましたが、これから自分はどうなっていくんだろうと不安になり一人で泣いたこともありました。

師範大学での授業が午前中のみなので、午後は塾に通い徹底的に発音から勉強しました。始めたときは、いつになったら上手になるんだろうと思っていたら、2ヶ月、3ヶ月すぎると中国人の友達から、「発音よくなったよね!」と言われて、すごくうれしくなりました。

中国で生活するには月1万円あつたら豪華な生活が出来ます。一日の食費は10元(200円)1500(3000円くらい)あれば十分です。天津は物価や交通費がほかの地域に比べて安いので生活しやす



いです。また、天津師範大学では留学生専門の中国語講座があり初級から上級までクラス分けしてあるので安心して勉強できます。

一年前は海外に行きたい、いろんな人と交流したいという思いはありましたが、なかなかその一歩を踏み出すことが出来ませんでした。しかし、留学を通して色々なことを学び、

韓国

見えないものが見えてきた

国籍が違っても本当の友達になれる

橋本由美子(文化交流学科四年次)

韓国。近くて遠い国といわれている、隣の国。正直、1年留学することは私にとって新しい挑戦だと思った。教科書問題、竹島問題と日韓の間では色々もめていたし、反日感情も凄いと聞いていた。日本人と言ったら、軽蔑されるのではないかと、うまく韓国人と馴染めないのではないかと不安なことばかりだった。

しかし、逆に悔しいという気持ちもあつたし、その韓国人と親しくなろうと考えた。いつしか、友達に対して日本人とは変わらない態度で素直に接しようとしていた。その甲斐あつてか、その友達は私に何でも話してくれるようになった。

その時、自分が真剣に友達のことを考えてあげれば国籍は関係なく本当の友達、親友になれる

昔、私は韓国人の友達に「日本人とは親友にはなれない。素直に話してはできないと思う。」と言われたことがあつた。その時、正直ショックで韓国人を嫌いになろうとしていた自分

しかし、逆に悔しいという気持ちもあつたし、その韓国人と親しくなろうと考えた。いつしか、友達に対して日本人とは変わらない態度で素直に接しようとしていた。その甲斐あつてか、その友達は私に何でも話してくれるようになった。

その時、自分が真剣に友達のことを考えてあげれば国籍は関係なく本当の友達、親友になれる



なれるということがわかつた。そういうことを経験したせいか、一人でも多くの韓国人に日本の良いイメージを与えようと思つた。

留学して一番感じたのは、文化の差だつた。友達関係など、人と人の接し方が私にとってとても心地よいものだった。正直というか、韓国にいると素でいられる自分。

また、日本に帰ってきて感じた住みづらさ。なんだか、気を使う社会、一度失敗してしまつたらそこで終わりのような挫折感を味わい、前に進めない社会。人に気を使つてしまひ、つい本音が言えなくなり考え込んでうつ病になつてしまふ、そんな人が増えていつていつて社会。

なんだか、自分らしくないと思つた。外国に出て新たな自分を発見した喜び、離れてみて初めてわかつた母国の良い点と悪い点、色々新たに発見できたなと思つた。視野を広げるといふ意味で留学はい経験になつたし、見えないものまでが見えた気がした。

一生忘れない経験、そして後悔のなかつた留学だつたなと思つた。行くか行かないかでなんでいるよりも、行ってしまつたほうが自分にとっていい経験になる。留学して私はそう思つた。

●とてもかっこよく見えた
H・S 1年次 女
パツン3人娘はとてもかっこよく見えた。違う国の人にその国の言葉で農業を教えたりするのは、知識も必要だし、体力的にも大変だと思ふ。でも、パツン3人娘はとても楽しんで活動しているの、やりがいのある仕事なんだと思ふ。

●英語は話せなくても
K・H 1年次 男
隊員の人びみな笑顔で接しているのがとても印象に残りました。特に小野寺峰子さんの体験談はとてもありませんでした。あの状況を2年間悩み続けてきた小野寺さんはいろいろな苦労と喜びを話してくれました。

●どうしようもない状態ではどんな言語も覚えられないと思つたのは本当かな? 僕は自信ないです。

●僕はただすごいと思つただけでしたが、藤田先生が「フランス語は通じた?」といわれたとき、先々週話していた、英語は別に話せなくても大丈夫という話とつながり、僕たちはこのことを聞いていたんだと思ひました。

●人のつながりが大切
M・Y 1年次 女
どんな場所でも、言葉の壁はあるけど、人のつながりがあるのだと思ふし、人と触れ合うのはいいもんだなと思ふ。

●今までは海外ボランティアが身近なものに感じられた。実際に、OGの体験談を聞いてよかつたと思ふ。

●人のためにも自分のためにも
N・R 1年次 女
一から畑を作ることがすこかつた。こっちはあたりま

えの知識が、向こうの人はまったく知らなくて危険が多いと思つた。

その場の人と仲良くなつて、一人ひとりを気にかけている姿が印象的だつた。人のためにも自分のためにもなると思つた。

●私でもいけるんだあー
S・K 1年次 女
電気がないことに驚いた、ランプ生活なんて考えられないけど、彼らにとつてはあたりまえのことなんだと思ふと不思議な感じがした。

JICAなんて遠い存在だといふ感じがしてはいたけど、私たちと年の近い人たちが活動していることに親近感がわいて、私でも行けるんだあーと思ふことができた。

ビデオと写真を見て日本との違いがショックだつた。住む所も景色も違つた。子どもたちが栄養失調になつていのは一番悲しかった。貧富の差を改めて感じた。

●やりがいをもらえるのなら
P・K 韓国からの交換留学生 女
人々の栄養状態を調べて足りないところを補充させることが面白かつたです。

ボランティア活動を通じてやりがいをもらえるなら、一度試してみたいです。特に教育の分野には参加したいです。



ブルキナファソでの看護師としての活動を語つた小野寺峰子さん

今どきの若者はどのような授業を求めているのか？

理想の授業を空想する

理想の授業Ⅱ阿部泰宏

月曜日時限目基礎演習の授業の×先生は面白くて、明るく元気で、宿題が少なく、寝ていても怒らなくて、授業内容がわかりやすく、学生と同じ目線で話してくれて、授業中に休憩時間を作ってくれて、たまに関係ない話もしてくれて、そんな先生の授業が僕は大好きです。授業も15分前に終わりにしてくれるし、授業料もいらぬと言ってくれます。授業の内容は最初の10分くらいは真面目に文化交流についての授業をやるのですが、残りの時間はいつも先生の雑談で終わってしまいます。そんな居心地の良い授業なので学生は皆寝てしまいます。でもそんな学生を×先生はいつも暖かい目で見守ってくれ、怒鳴ったことなど一度もありません。なんて授業があればいいなと思います。

異文化コミュニケーション 木村慎吾

授業名は異文化コミュニケーション体験。先生は面白く常に笑いをとろうとしている楽しい先生です。授業内容は5人くらいのグループを作り、一年間の間にヶ月ほど行きたい海外に行き、行った国の人とコミュニケーションをとっている映像を撮影して来るというものです。最低30人とコミュニケーションをとりなくてはなりません。旅の計画などはすべて自分達でたてます。旅の費用の三分の二は学校が負担してくれます。さらに一番良くできたグループには全額費用が返ってきます。単位は海外に行けばもらえます。

俺が好きな授業Ⅱ粉川春希

俺が一番好きな授業は『食文化を極める』です！この授業では、色々な国の食文化を調べ、実際に現地へ足を運び、本物の味を体験することが出来ます！今まで行った中でも韓国はいちばん良かったです！本場のピビンバは最高でした！次は香港辺りにいきたいと思えます！

私のお気に入りⅡ立原聖衣

私のお気に入りⅡ立原聖衣の衣食住です。担当の〇〇先生はいつも世界の国々の民族衣裳を着て授業をします。授業中に眠っていても、友達とお喋りをしていても先生は怒らないと言いましたが、実際はそのような暇もないくらい先生の話に興味を持っています。それほど先生の講義はおもしろくて楽しいのです。その国に合った服や食べ物や家を知ることができて、「今日どの国について話してくれるのかな」といつも待ち遠しいです。

分析から見えてきたものは？!

◆末吉広大

資料に目を通してみると「授業は楽に」「単位は楽に取れる」などの表記が目立った。これらの資料からみえてくる現代の若者の考え方についての傾向は「努力はしないで楽に」だ。

この「楽をしたい」というのは現代の若者の特徴と言っても過言ではない。なぜこのような「楽をしたい」な考えが生まれてしまったのだろうか。今日の日本はものに困ることもなく生活環境にも余裕ができて比較的自由である。

だがそこに原因がある。その余裕が社会のゆるみをもたらし、考えられる。このゆるみにはまっとうな「今時」の若者は堕落してしまっている。そしてこれらは現代に生きる若者の低能化につながるのだ。この低能化は深刻な社会問題となっている。解決策は、やはりひとりひとりがなにに値も努力をして、その行動に価値があることを理解することだ。言葉でいうのは簡単だが、このゆるみにつかりきった「今時」の若者がそう簡単にできることではない。

自分自身も例外ではなく、「今時」の人間なのでよくわかる。この調

歴史を学ぶⅡ勝田智幸

この授業は、日本がおこってきたさまざまな戦争について学ぶ。先生はいつもプリントを配る。その内容は当時の人間からインタビュー形式で分りやすく簡潔に書かれている。テストはなく、レポート重視だ。先生の性格もなかなか面白く、授業中暇になることはない。

授業内容は日本が戦争時に使用した兵器の話と、戦争の裏側で活躍した人達の事をやる。先生はいつも出席を取らない。先生のすごい所は学生の名前を全部覚えていて、一人一人の事を大事に考えているところだ。こんな学生想いの先生がいたらどれだけ楽しいだろう？

日本娯楽Ⅱ高松雄太

書いて字のとおり日本の遊戯などを楽しむ授業である。基本的に部屋の中でできて日本のものであればなんでもかまわない。将棋や囲碁などのゲーム、読書(漫画なども含む)。たまに先生が用意してくれたゲームで遊ぶこともある。何でも許されるような授業だが、一応授業なので寝ることだけは許されない。なぜなら、この時間先生暇なのか、それとも小言がすきなのか、灰になるまで説教されるからである。それ以外は何をしてもOK、単位も一年間で四単位。宿題ももちろんなし、出席とらないいいかげんな先生。二、三〇分遅れるので、その間は自由時間のようなもの。別の授業の予習や宿題だってできる。

就職に絶対有利

企業のインターンシップに参加しよう!

文各流学科主任 森 謙二

昨年度から、文化交流学科の学生を中心として、独自のインターンシップを実施しています。昨年度は、茨城放送・茨城新聞・サンガーデンホテル・JTBを中心に実施してきました。今年もほぼ同様の企業でインターンシップを実施する予定です。

インターンシップへの参加は、あなたの就職に絶対有利に働きます。就職の面接試験の時、このインターンシップを話題することが出来ます。こ

これらを参考にすれば、学生にも評判が良く、教師としても気持ちよくできる授業になるに違いありません。

このように全てのことに「楽」ということを関連付けることが出来る。今どきの大学生は苦勞しないで終わらせたいのだと思ってしまう。先生側に立つてみると相当ストレスが溜まると思われる。自分が話をしているときに寝ているも気にしないなんて人はいないと思う。学生としては自分の興味のない話をされると眠くなってしまうだろう。

◆海野一幸

「今どきの大学生」

資料を見て傾向を考えてみた。基本はレポート提出

先生：おもしろい、寝ていても怒らない
このような結果になった。ほとんどの人の文に「楽しく」「や」「楽に」などの言葉が入っていた。キーワードは「楽」だと思ふ。自分の興味のある授業なら楽しくできる上に、内容を理解しやすいから楽にできる。

レポートなら、テストのような緊張というものがなくて楽だ。他の人のレポートを参考に出来たりなど、自分一人の作業じゃなく

体験も立派なキャリアです。また、茨城放送や茨城新聞のマスコミ関連へのインターンシップは、やりたくてもなかなかできるものではありません。ホテルやJTBへのインターンシップは、観光関連企業に就職したいと思っている人には絶対のチャンスです。このチャンスを生かしてください。チャンスを生かすかどうかはあなたの意欲と積極性・チャレンジ精神次第です。

【二面に関連記事】

ロンゴロンゴとは南太平洋ポリネシアのイースター島で音作られた「物」を言う「板」です。この板には文字のようなものが書いてあり、この文字はまだ解読されていないそうですが、これは島の人々に歴史や情報を伝える板でした。